

もっと

村上岩船福祉会を 知りたくなるマガジン

No. 25
2023.9

広報 悠久

ささ 支える手が つな 繋がって きずな 絆になる

contents

理事長からごあいさつ	2
役員新体制紹介	3
法人リクルーティングムービーが快挙!	4-5
新採用職員紹介	6
特別養護老人ホームって?	7

理事長からごあいさつ



理事長
川内 信一

社会福祉法人村上岩船福祉会
新役員名簿

理事／監事	
理事長	川内 信一 (再)
常務理事	林 与市次 (再)
理事 (総務委員長)	川村三千男 (再)
理事 (経営委員長)	八藤後 清 (再)
理事	稲垣 秀美 (再)
理事	平田 誠 (再)
理事	木ノ瀬里美 (再)
理事	富樫 孝平 (新)
理事	五十嵐好勝 (新)
理事	近 さと子 (新)
理事	高橋 茂 (新)
監事	近 伊織 (新)
監事	板垣 圭 (再)

【任期】
令和5年6月23日から選任後2年以内に終了する会計年度のうち最終のものに関する定時評議委員会の終結の時まで。



令和5年6月23日(金)の定期評議員会において役員を選任が行なわれ、その後の理事会で新たな役員体制が決定いたしました。



このたび、理事の改選に伴い、常務理事に選任されました。林与市次と申します。はじめに新型コロナウイルスウィルス感染症で日々ご尽力されてきた施設長はじめ職員のみなさまに心より感謝申し上げます。今年五月から新型コロナウイルス感染症が二類から五類に移行しましたが、まだ、感染症対策をおろそかにできない状況であります。私は、市役所を退職後、社会福祉協議会で生活支援員として、令和三年まで勤務させていただきました。この

間、認知症予防対策としてグループホームなどの施設にアコーデイオンボランティアとして巡回しながら、ご利用者さんと楽しく歌ったりしてきました。村上岩船福祉会理事を三期にわたり務めさせていただきます。各施設研修や視察、各行事などに参加させていただきます。

当法人の理念であります「一人ひとりの安心と笑顔のために」をモットーに、ご利用者さんが毎日の生活の中で、職員やボランティアさんと会話したり、ゲームしたり、読書など生きがいある生活を送れるように、これからも努めてまいります。

ホームページはこちら



詳しい法人の概要は、村上岩船福祉会ホームページをご覧ください。

本当の意味でのやりがいを職員にそのための改革を

人材確保と同時に職場環境を良好に保ち、法人職員として上を目指す人材の育成を図っていかねばならないと考えています。そのためにも、採用試験や昇任試験についても見直していく必要もあると思っています。処遇改善に関わる部分は、人件費比率等も見ながら進めていくことになりそうです。簡単なことではありませんが、本当の意味でのやりがいのある介護・支援職にしなければならぬと思っております。そのためにも今以上の改革を関係者皆様のご協力とご理解を得ながら進めて参る所存であります。

皆さんこんにちは、理事長の川内信一です。早いもので理事長に選任されてから二期目に入りました。この間、各施設とも新型コロナウイルス感染症拡大防止に追われ気の抜けない毎日であり、国の対応が第五類に移行した現在にあっては、未だ施設ご利用者や職員から感染者が少なからず報告されているため、施設入所者への居室での面会制限や、施設の入りにマスクの着用をお願いするなど、引き続きご不便をお掛けしております。施設ご利用者やそのご家族の皆様はじめ、職員の皆様のご理解とご協力で感謝申し上げます。

さて、令和四年度の法人決算が先般の理事会及び定時評議員会にて承認を頂きましたが、新型コロナウイルスが和らいで施設稼働率が持ち直してきたものの、諸物価高騰による費用が増大し、増収減益の結果となりました。

今後、施設の老朽化に伴う更新や改修が喫緊の課題となってくる中、財政基盤の強化を図っていかねばなりません。如何せん私共ははじめ福祉介護の業界にあっては自分たちの裁量だけで収入を増やすことが難しいのが現状であります。妙案が浮かばない中先ずは全役職員が今の状態を認識することから始めなければと思っております。そして自分が受け持つ業務と施設全体の業務の中で、改善や節約出来ることが無いのか、些細なことでも自分が思うことを提案する形で、みんなで出し合い実行していく事を是非始めて頂きたい。そしてその事が自分たちの処遇改善にも関わってくることも考えながら・・・

一方で、人材確保、育成が重要であると考えます。法人の基本理念である「一人ひとりの安心と笑顔のために」を実践するためにも慢性的な人材不足を何としても解消しなければならぬと思っております。職員が笑顔で接することで初めて施設を利用してくださる方が笑顔になり、その笑顔によってご家族の皆様にも安心していただける、それこそが基本理念の目指すところでもあります。

村上岩船福祉会リクルーティングムービー【season 2】

第64回新潟広告賞『グランプリ』

第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞『フィルム・オーディオ部門賞』



- 1 出演した3名の職員と授与いただいた表彰状とトロフィー
- 2 3 4 5 撮影の様子（令和3年9月10日、10月19日）
- 6 7 新潟広告賞表彰式の様子（令和5年3月13日 ANAクラウンプラザホテル新潟）
- 8 9 第71回全広連金沢大会での表彰式の様子（令和5年5月17日 石川県立音楽堂）



1

W受賞の快挙！！



出演者に受賞の感想など聞いてみました



村上市障がい者基幹相談支援センター
相談支援専門員 鈴木 忍さん

この動画を観てくださった人達へメッセージがあればお願いします。

たくさんの方に伝える、知ってもらおう方法として、動画での発信は今の時代に合っていると思うので、有効活用してたくさんの方に観てもらいたいです。話は少し変わってしまいますが、同様に福祉もその時の時代の沿った対応が求められます。ただ、福祉の職業倫理として、変わらないういけないうところは変える必要がある反面、変わってはいけない部分もある。基本忘れずその信念はしっかりと、自分の中で整理しながら仕事をしたいと、福祉の仕事に携わるすべての人にメッセージとして送りたいです。

「介護」「福祉」って言葉だけで特別視され、なんだかかまこまこしてしまう印象を持たれます。でも介護は誰もが通り、経験を積んでいく道であり、とても身近であるという事をまず感じてもらいたいです。だからこそ介護を職業として働くということにも、もっと気軽な感覚で捉えてもらえたらと思います。介護、福祉に携わる人は、社会性をわきま基本をしつかりと捉えている人達が多いです。更には人とのおふれあいやコミュニケーションを上手に行える能力も併せ持っています。当たり前のことでもそれ以上に当たり前に持っている存在が介護職であり、職員はともども存在であり誇りに思っています。日々自己研鑽し成長を目指す彼女、彼らの活躍を、動画だけでなく実際の場面でも見て頂ければと思います。

特別養護老人ホーム垂水の里



介護士 板谷越 菜々さん
介護士 小沢 朋美さん
介護士 須貝 紗英さん

受賞の率直な感想を聞かせてください。

板谷越 ビックリしました！撮影中は1日中カメラが貼り付いて正直しんどかったです。報われた気がします。

小沢 後輩が頑張ってくれたおかげです。今回の受賞でメディアに取り上げられることも多くありましたが、まわりの反響はどうでしたか？

小沢 家族含めはじめは誰にも言わなかったのですが、保育園の送迎時に普段関わりのない保護者の方からも「観ましたよ」と声を掛けられるようになり、恥ずかしいですが「職場がすごい楽しそうないい所ですね。」と言われ嬉しかったです。

須貝 専門学校の友達から「とてもいい職場だね！」「こんなところで働きたい！」って言われています。

板谷越 テレビ放映後、高校や専門学校の友達、親の知り合いなど沢山の人が連絡がきました。「職場の雰囲気楽しそう」「仲の良さが伝わってくる」「とても良い動画」と言われて嬉しかったです。

主に若者をターゲットに、当法人の魅力発信と介護の仕事にもっと興味を持ってもらいたいという願いも込め、「村上岩船福祉会リクルーティングムービー【Season2】」（以下、シーズン2）を制作し、令和4年1月4日に配信を開始しました。村上岩船福祉会の紹介動画は、平成27年にも県の事業に応募して制作した経緯があり、その動画（以下、シーズン1）については求人説明会で流すなど限定的な場面で使用してはきました。今回のシーズン2はよりたくさんの方に届けたく、法人ユーチューブチャンネルを開設して一般公開に踏み切りました。

シーズン2は、入職してまだ間もない2人の職員が主人公。仕事する様子に密着しながら実際に働く姿や想いをありのままに映し出しました。またシーズン1に出演した職員も再登場し、あれから約6年の時が経って、それぞれの立場や生活が変わってもなお働き続けられている事や、法人への想いを伝えています。全体的に映画の予告編のような作りになっているのも特徴です。観た人からは、「職員の生のメッセージと後半のバックミュージックがとて心響いて最後はジンときた。」といった感想をいただきました。

今年のはじめ、制作に携わってくれた株式会社プロメディア新潟からの紹介で、今年で64回を数える、新潟広告賞にこの動画を出展しました。選考の結果、5部門中最も優れた作品に贈られるグランプリに見事選ばれました。またグランプリとなったこの作品は、新潟広告協会からの推薦という形で「第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞」に応募され、全国から集まった104の応募作品の中から「フィルム・オーディオ部門」にも見事選出されました。このことは新潟県内でも快挙であり、メディアの反響もとても大きいものとなりました。

「課題に対して耳ざわりの良いことだけでなく、現場で働く人たちの本物の姿、声を伝えようとする真摯で正直な姿勢が光った。5分近い映像にも関わらず、視聴者を飽きさせない構成でポジティブに伝えており、巧みな技術がうかがえる。リクルーティングに加えて、企業イメージの向上にもつながる作品として高く評価された。」（第2回鈴木三郎助全広連地域広告大賞贈賞理由を抜粋）

この二つの栄誉ある賞の受賞で「村上岩船福祉会リクルーティングムービー【Season2】」はかけがえない法人の宝物となりました。動画は村上岩船福祉会ホームページ及びユーチューブチャンネルで絶賛公開中。是非一度ご覧になって下さい。

村上岩船福祉会リクルーティングムービー【season 2】



公開日 令和4年1月4日
企画 村上岩船福祉会業務企画課
制作 株式会社プロメディア新潟
出演 板谷越菜々（特別養護老人ホーム垂水の里）
須貝 紗英（特別養護老人ホーム垂水の里）
小沢 朋美（特別養護老人ホーム垂水の里）
鈴木 忍（村上市障がい者基幹相談支援センター）
※現所属事業所

ムービーはこちら↓



令和5年度新採用職員のご紹介

2023 new staff members

村上岩船福祉会は令和5年4月1日付で新たに12名の職員が入職いたしました。
この新しい力を加えて、皆様へよりご満足いただけるサービスの提供に努めてまいります。
これからも村上岩船福祉会をよろしくお願いいたします。



特別養護老人ホームの『???』にお答えします！

私達が
お答えします！



特養サービス管理課生活相談係会議の様子

介護施設には様々な種類がある中、特別養護老人ホーム（以下、特養）ってよく耳にする施設ですよね。でも、「特養って比較的費用が安いって聞くけど中々入れないみたい…」など、特養に関するちょっとした疑問って多いはず。そこで今回は、法人内に組織する特養サービス管理課相談係のスタッフから、みなさまより比較的多く寄せられる特養に関するいくつかの疑問に答えていただきました。是非今後の参考にしてみてください。



特別養護老人ホームいわくすの里
伊藤次長

ちよつとその前に、
生活相談係をご紹介します！

村上岩船福祉会が運営する7つの特養の入所定員は全部で420名。その入所されたご利用者とご家族のキーパーソンとなるのが生活相談員です。各施設に配置された生活相談員が、地域の課題や特養で起きている課題に対して、日々情報を共有し、定期的に会議も開催しながら課題解決に取り組んでいます。それが「特養サービス管理課相談係」です！
それではみなさんの???に答えていきましょう！

Q1 特別養護老人ホームってどんなところ？

特養には3種類の形態があるのをご存じですか？従来からある『広域型特養』に加え、2006年度の介護保険制度改正で『地域密着型特養』と呼ばれる定員29人以下の施設が誕生しました。その他全国的にも僅かですが『地域サポート型特養』というものがあります。村上岩船福祉会では、6つの広域型特養と、1つの地域密着型特養の計7施設を運営しています。
入所されたご利用者へは、その方専用の施設介護サービス計画（ケアプラン）を作成します。この計画に基づいて、食事、入浴、排せつなどの生活のお手伝いをしながら、機能訓練、健康管理にも努め、施設でも自分らしくいつまでも元気な暮らしが続けられるように、支援していきます。

Q2 特養って誰でも入所できるの？入所の条件ってありますか？

常時介護が必要で、原則として要介護3以上の在宅での生活が困難な方が対象となります。要介護1、2の方でも特例を満たしていれば入所が可能ですが、必要な人に必要な介護が行き届くように一定の基準が設けられました。
この基準が設けられたから当法人の特養に入所待ちされている方は、現時点で300人程度となっています。

Q3 入所を申し込みたい時、まずどこに相談したらいいの？

申し込みたい施設が決まりの場合は、直接その施設の生活相談員に連絡して下さい。入所申し込みの仕方や施設、お部屋の説明、入居の費用について説明させていただきました。当法人の施設7つの中から併せて申し込みたい施設があれば入所申請書の写しを希望施設に転送し、同じ申し込みを行ったとする処理を行います。一か所で複数の施設に申し込めるよう配慮もしておりますのでお手間もとらせません。入所申し込みの申請書は各施設の窓口でもらえる他、村上岩船福祉会のホームページからもダウンロードができます。

Q4 私より後に申し込んだ近所の人が先に入所したと聞いた。どういう事？

入所の順番については、施設職員のほか第三者も含めた入所検討会議（入所判定会議）という場で、要介護度の重さや生活の状態、病状等を、総合的かつ公平中立な観点で検討し入所の優先順位を決定します。このことから申し込んだ順に入所ができるという事ではないことをまずはご理解いただきたいと思えます。入所検討会の開催時期については、各施設で異なります。

Q5 特養は利用料金が安いって聞くけどなかなか入所できないってホント？

入居の費用については、介護度や居室の形態、広域型と地域密着型によっても料金が異なってくるので、一概にこの場でお答えはできませんが、特養には費用が抑えられる制度がある事と、入居一時金などの初期費用が不要な面から、他の高齢者施設と比べればリーズナブルと言われる事はあります。
令和4年度の1年間で、村上岩船福祉会の特養に入所されたご利用者の数は156名入所申し込みは282件ありました。この申し込みの数に驚くかもしれませんが、Q4でお答えしたとおり、入所は申し込み順ではございません。入所の時期は様々ですが、申し込みから1年以内でお声かけをさせていただく事も少なくありません。

No.25の表紙

広報
悠久



表紙の担当施設
特別養護老人ホームさつき園

撮影者
高橋 英男

今年はさつき園に3名の新入職員を迎え入れることができました。さつき園はとても歴史のある施設で、数多くのその歴史を紡いできました。ご利用者を支える想い、職員同士が補い合い支え合う精神を世代を超えて受け継ぎ、強いきずなを作ってくれることを期待しています。

職員募集中！！

社会福祉法人村上岩船福祉会



一人ひとりの安心と笑顔のために

—発行元—

〒958-0053

新潟県村上市上の山2番17号

社会福祉法人村上岩船福祉会 本部事務局

TEL 0254-50-2222

MAIL jimuhonbu@murakamiwafune.or.jp

ウェブサイト



リクルーティングムービー
(season2)

